

あまのついで

2024
お盆号 VOL.171
浄土宗西山深草派宗務所
総本山 誓願寺



じょうど しゅうかいしゅう けいさん だいほう よう
◆ 浄土宗開宗850年慶讃大法要 ◆

目次

- インド **ド** **タ** **バ** **タ** 夫婦道中記 65
- 浄土宗開宗八百五十年慶讃大法要のご報告
- フカクサ精進クッキング
- 総本山誓願寺だより
- お釈迦さまの十大弟子 31
- 何でも“お寺探偵団” Vol.69
養泉山 法性院



最終章

数時間後にインドを離れるというソワソワとした気持ちで落ち着かず、これで最後の食事になるので、予め情報を得ていたゴールド・レジエンシーという店に入った。店の中は外の喧騒とは異なり、静かで品のある趣の店だった。インド最後の晚餐としやれ込んで、まずはゴルドン・イーグルというビールで乾杯し、僕たちはなごり惜しく且つ残り少ないインドでの時間と空気に浸った。

僕がどこの国よりもまずインドに行きたいと思ったのは、仏教の源流、仏陀「釈尊」が存在した国だからだ。そしてインドに渡り釈尊の足跡を訪ね歩いて行く内に、もうひとつ、「不思議な国インド」に魅せられるようになり、今回は妻を伴っての渡印になったのである。第一の理由は仏教者として当然のことであるが、「不思議な国」の魅

力、それは漠然とした、一言では言い表せない表現である。

余談ではあるが「不思議」という言葉は「不可思議」の略語である。インドでは、数字の単位が一・十・百から億・兆・京・垓・・・と連なり、最後の単位を漢訳したものの、それが「不可思議」である。尚かつゼ口を考え出したのもインド人である。にも関わらず、インドでは出来事と年代についての記録が大まかで、それに対し中国はキッチリと記録されていて、民族の違いにより性格が大いに異なるのだ。これもまた不思議である。

また日本より早くからIT産業が進んだ中、巷を見てもその片鱗すら伺えない。人力で喘ぎながら客を乗せてノロノロと進むサイクル・リクシャを横目に、ヨーロッパの高級乗用車が土煙を巻き上げて走り去っていく。使用人を何人も雇い大邸宅に住む少数のマハラジャと、都会に集まるストリート・チルドレンや物乞いを生業とする大人

たち・・・。釈尊も、無抵抗主義を貫きインド独立を勝ち取ったマハートマ・ガンディーも、ネルーも改革できなかったカースト制度が残る。バラモン教以来、その流れを汲むヒンドゥー教徒は、人口の八割を占め、あまり改革も無さそうなカースト制度が、そのまま続いているように思う。ヒンドゥーの神々を共に篤く信仰する彼らには、プラスの面も大いにあるのだろうか。不思議な国インド、できるならば、もう一度行ってみたい。

合掌



仏舎利をまつる本堂にて 祇園精舎前のスリランカ寺



旅の行程

首都デリー^①から始まり、タージ・マハルのあるアグラ^②、エロテイシズム漂うヒンドゥー寺院群のカジュラホー^③を巡り、その後、インド中部の岩山を掘り壁画の美しい仏教だけの石窟寺院群があるアジャンター、仏教・ヒンドゥー教・ジャイナ教の三宗教で、三十四の石窟寺院群があるエローラに向かった。

そして北部に戻り、ヒンドゥー教徒なら一生の内に一度は行きたいと憧れるガンジス川の聖地バラナシ、そのすぐ近くの釈尊が覚りを得てから初めて説法した初転法輪の地サールナート(鹿野苑)、覚りの地ブツダ・ガヤ、よく法を説いた竹林精舎や耆闍崛山(または靈鷲山)のあるラジギール(王舎城)、そして『仏説阿彌陀經』でおなじみの祇園精舎(祇樹給孤獨園)で有名なシユラバステイへと移動した。

帰国間際には、デリーに戻る前に観光地ナイニータルで過ごした後、振り出し(デリー)に戻った。

読者の皆さまからの感想

インドの道中記は楽しみに拝読しています。
京都府男性

外国へは行ったことがないので、読んでいて色々なことを知ることが出来ました。
兵庫県女性

女物のTシャツや男物のパンジャビドレスがとても安くてびっくりです。インドの旅は楽しそうですね。
愛知県女性

インドタバタ夫婦道中記をいつも楽しみに拝読しております。
京都府女性

インドタバタ夫婦道中記も毎回楽しく拝見読ませて頂いております。
愛知県女性

いつもインドタバタ夫婦道中記を楽しみに読ませて頂いています。海外の香辛料は安くていいと思います。
愛知県女性

インドタバタ夫婦道中記を毎回楽しみに読んでいます。私達もインドを旅した事があり思い出しながら読ませて頂いています。
愛知県女性

インドタバタ夫婦道中記五十九回目が楽しみです。何かどんでん返しでも有るのですかね、無事の帰国を祈念しています。
京都府男性

何時もタバタ道中記を楽しみにしているのですが、色々とおバツンが有りますね。
京都府男性

やっぱり外国でも日本でも野菜中心の食事は、安心して食べられて良いと思いました。
愛知県女性

大変楽しく拝見させて頂きました。特にインドタバタ夫婦道中記は面白さと新しい情報で為になりました。
静岡県男性

インドタバタ夫婦道中記、夫婦仲が良いなあ。
愛知県男性

数年前にインドに十日間の旅に行きました。インドタバタ夫婦道中記を読んで色々思い出しました。
愛知県女性

若かったら、インドへ行ってみたかった。
愛知県女性

旅行記は楽しく拝読しました。
愛知県女性

仏教の国なら般若心経が通じて良いですね。
愛知県女性

インドへは一度も行ったことがないのですが、一緒に旅をさせてもらっているかのような気持ちで毎回楽しく拝読いたしておりました。
ちかい編集員長

フカクサ精進クッキング

精進料理とは、仏教における戒律に基づいて、「殺生（生き物を殺すこと）」を避け、「煩惱（人を苦しめ、煩わせる心）」を刺激しないために生まれた料理のことをいいます。精進料理では使用を禁止している食材が大きく分けて二つあります。一つは肉・魚・卵等の動物性の食材、もう一つは煩惱を刺激する五葷（五辛ともいう）と呼ばれるニラ・ニンニク・ネギ等のネギ属に分類される野菜です。

暑い夏、お盆の季節はナスがおいしく育ちます。ということで今回のレシピは「ナスのかば焼き風」です。この料理は「かば焼き風」ということもあり、見た目や味付けなどをウナギやイワシなどのかば焼きに似せています。このように、植物性の食材を使い、見た目や食感を動物性の食材に似せた精進料理は「もどき料理」と呼ばれています。私たちがよく食べている「がんもどき」は、その代表的なものの一つです。

 **畔柳紀子** プロフィール

愛知県西尾市第十学区桂岩寺寺庭婦人。日本女子大学食物学科卒業、管理栄養士。保健センター、子育て支援センター、クリニックなどで食育や栄養指導、福祉センターなどで身体の不自由な方、高齢の方に向けての料理教室を行う。



今日のレシピ

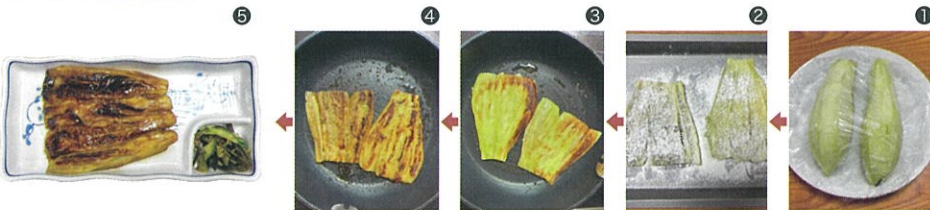
ナスのかば焼き風

材料（2人分）

- ・ナス……………中型2本
- ・小麦粉……………適量
- ・酒……………大さじ2（A）
- ・醤油……………大さじ1（A）
- ・みりん……………大さじ1（A）
- ・砂糖……………大さじ½（A）

調理方法

- ① ピーラーでナスの皮をむき、皿にラップをして電子レンジ（600W）で3分加熱する。
 - ② ナスを観音開きにして包丁の腹を使い平らに押しつぶし、小麦粉を薄く全体的にまぶす。
 - ③ フライパンにナスを敷き、両面に焦げ目が付くまで焼く。
 - ④ Aをフライパンに入れ、ナスになじませる。
 - ⑤ 白い胡麻などを振りかけていただくようにしよう。
- ※丼にしても美味しくいただけます。この写真では剥いたナスの皮をお漬物にし、こま切りにしたナスをお吸い物に入れてあります。



お釈迦さまの
ご生涯
外伝

お釈迦さまの十大弟子 31

絵・豆田織奈 文・釈尊法話会

密行第一羅睺羅尊者(その8)

羅睺羅尊者は密行第一と言われ、人に姿を見せることなく修行を続けており、各地を旅しておりました。父であるお釈迦さまとは一緒に行動することはありませんでした。

お釈迦さまが涅槃に入られることとなりました。父であるお釈迦さまの最期に立ち会うことを拒みました。修行を続け、立派な僧侶になっていたとは言え、父の最期の姿を見たくなかったのだらうと思います。しかし、他の弟子たちに、

「世尊の最期に立ち会うように」

と何度も言われ、逃げ出したい気持ち

を抑え、羅睺羅尊者はお釈迦さまの元へやってきました。

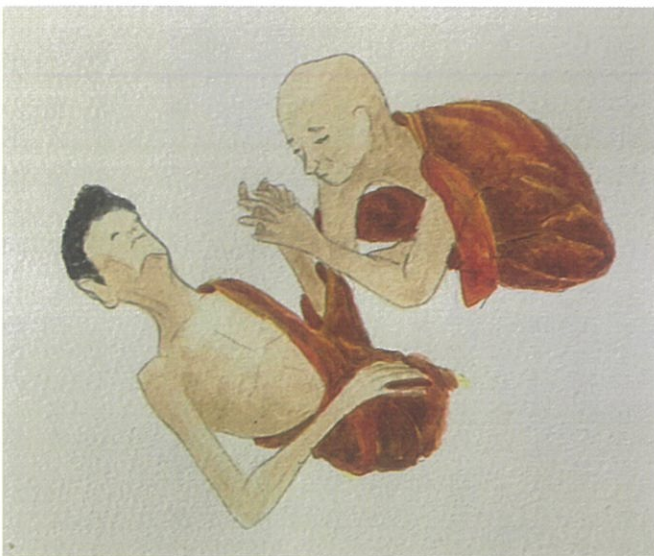
父の姿を見ると、虫の息です。涅槃は今か今かという状態。羅睺羅尊者はお釈迦さまに声を掛けることが出来ず、ただただ涙を流しておりました。すると、お釈迦さまは羅睺羅尊者に声を掛けました。

「羅睺羅よ、悲しむではない。泣くではない。世の中は諸行無常である。如来としてそれから逃れることは出来ない。私の命が尽きても、私の教えは残る。これからは自分を拠り所として人生を歩め、私の教えを拠り所として人生を歩め。息子、いや羅睺羅尊者よ、これからは励むのであるぞ」

これが父であるお釈迦さまの最期の言葉でありました。

その後の羅睺羅尊者の様子は伝えられておりませんが、禁戒第一とも言われておりますので、誰よりも自分に厳しく自分を律して生涯を歩まれたのであろうと思います。お釈迦さまの子供として、誰よりも努力と精進をされたのでしよう。

(おわり)



お釈迦さまの最期に立ち会う羅睺羅尊者

浄土宗開宗八百五十年 慶讃大法要のご報告

去る令和六年四月二十一日から二十五日までの五日間、総本山誓願寺にて元祖法然上人浄土宗開宗八百五十年慶讃大法要をお勤めいたしました。

法然上人は一一七五年（承安五年）に「上より来、定散両門の益を説くといえども、仏の本願に望むるに、意、衆生をして一向に専



参詣者を囲み散華を撒く僧侶 倉内賢道 説教師杉田道秋師
寺宝展での絵解き 新京極商店街お練り 法然上人の経歴を拝読する倉内賢道

ら弥陀仏のみ名を称せしむるにあり」という一節をもとに浄土宗をお開きになられました。

厳しい苦行や精神統一などの修行の末にお称えするお念仏ではなく、ただお念仏をお称えするだけで浄土往生が叶う。いつでもどこでもお称えすることができるとお念仏という御教えは、法然上人のおられた時代から八百五十年たった今日でも残っているということ、非常に皆さまの心に寄り添った御教えだということ、この度の法要を通して改めて感じる事ができました。

誓願寺でお勤めさせていただきましたこの度の法要は、午前と午後の二部制という形で檀信徒の皆さまには各地域ごとにお参りをいただきましたが、有り難いことにすべての法要で誓願寺本堂は満堂になりました。

また誓願寺会館では皆さまから賜りました浄財で修復いたしました宝物（誓願寺縁起絵模本一幅、二幅、四十八光真向弥陀ノ尊像、刺繍梵字三尊、善導大師像、以上五点）の修復完了報告並びにお披露目として寺宝展を併せて行わせていただきました。

法要の内容は、全日ともにお説教、お練り、施餓鬼納骨法要、本法要という流れでした。お説教は、宗派から選ばれた五名の説教師がそれぞれ一日を受け持ち、一日二席で登壇していただきました。前後の都合上、持ち時間は非常に短い二十分でしたが、その中には笑いあり、感動ありで、各説教師の特徴を十分に味わうことができました。特に笑い声が

多かったという印象と、お話の後半にはこれ

からの本法要に向かう聴衆の心構えがしっかりと整えられたという印象があり、長年の経験を活かした素晴らしい話芸が披露されました。

お練りは、生演奏の雅楽が響く中、多くの僧侶が七条袈裟というきらびやかな装束をまとって商店街を練り歩く、非常に雅な光景で見応えがありました。

施餓鬼法要は誓願寺伝統法要の一つで、節回しや鳴り物の賑やかさの中にも独特な宗教の有り難さを感じられる法要です。

そして、この慶讃大法要のために新たに編集された浄土法事讃というお経は、よく皆さまがお聞きになる「一同でお経を読み上げる」という形ではなく、一人の僧侶がお唱えする独唱が非常に多いお経です。五日間の午前と午後はすべてその独唱の僧侶を変え、その僧侶の持つ声質や声量などを存分に聞くことができ、この度の法要を語るうえで欠かせないものとなりました。

法要の途中、内陣の僧侶が外陣へ降りてお参りの方々を囲み、蓮の花に見立てた散華というものを撒く光景は何とも言えない華やかさがあって圧巻でした。

この度の法要を通して、その日その時の出来事一つ一つがありがたく感じる、大変心地の良い五日間でした。

誓願寺の阿弥陀さまのもとへ沢山の方がお参り下さり、そして五日間というとても長い期間の法要が当派僧侶の皆さまのおかげで無事円満に終えられたことに感謝を申し上げます。ご報告とさせていただきます。

総本山誓願寺だより

精霊送り(盆施餓鬼)法要のご案内

毎年八月十六日に京都では大文字で有名な五山の送り火(精霊送り)が行われ、総本山誓願寺におきましても精霊送り(盆施餓鬼)法要をお勤めして、お盆の間里帰りされていたご先祖さまをお浄土へお送り致します。

○精霊送り(盆施餓鬼)法要 一霊三千元

令和六年八月十六日(金)

法要時間 十一時・十五時・十八時

精霊送り(盆施餓鬼)法要のお申し込みは随時承っておりますのでお気軽にお申し付けください。また、施餓鬼棚へ水塔婆をお供えする、水塔婆供養(一霊五百円)も承っております。

○お申し込み

総本山誓願寺(〇七五)二二二-〇九五八

少年少女参拝団 参加者募集

総本山誓願寺では毎年夏休みに小学校五・六年生を対象に一泊二日のお坊さん体験を行っております。今年(八月二十二日(木)、二十三日(金))の二日間となります。定員は四十名です。定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。各寺院へ募集要項をお知らせしますので、詳しくはそちらをご覧ください。



おもな行事予定

八月

●十五日(木) 六阿弥陀功德日

●十六日(金) 精霊送り(盆施餓鬼)

●二十二日(木)~二十三日(金) 少年少女参拝団

※お盆期間(八月十三日~十五日)は、本山納骨のご予約を承ることができません。

九月

●十八日(水) 開山歴代忌(六阿弥陀功德日)

●十九日(木)~二十五日(水) 秋彼岸

十月

●六日(日) 策伝忌

●八日(火) 六阿弥陀功德日

●十日(木) 数珠供養会

十一月

●二十日(水) 西山忌

●二十四日(日) 六阿弥陀功德日

十二月

●一日(日) 仏名会

●八日(日) 成道会

●二十四日(火) お身拭い式(六阿弥陀功德日)

●三十一日(火) 除夜の鐘



SHINHYOCOKU_SEICANGI

クイズコーナー

【問題】

8頁「何でもお寺探偵団」より、海中で網にかかって見つかったご本尊には何が付着していましたか？
漢字2文字でお答えください。

○ ○

ハガキに、「答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、菩提寺(だんな寺)、感想」を書いてご応募ください。なお、ご提供いただいた個人情報につきましては、プレゼントの発送のみに利用いたします。今回は、法性院さまより、手拭いたオルを10名さま、本山謹製線香を5名さまに抽選して差し上げます。ご応募お待ちしております。

【宛先】〒四四二-〇一〇五

愛知県蒲郡市西浦町北馬相十一番地
覚性院内 ちかい編集係

【締切】九月三十日
(消印有効)

答え ○ ○
郵便番号
住所
氏名
電話番号
菩提寺(だんな寺)
感想

ちかい 第171号

発行日 令和六年六月十九日
発行所 浄土宗西山深草派
総本山誓願寺

京都市中京区新京極桜之町四五三番地
電話(〇七五)二二二-〇九五八
FAX(〇七五)二二二-二〇一九
E-mail info@fukakusa.or.jp
URL https://www.fukakusa.or.jp/

何でも

お寺探偵団



法性院

Vol.69



浅野勝璨師 (法性院 第18世) 昭和27年9月12日生まれ 71歳

profile

蒲郡市拾石町生まれ。昭和50年に自坊にて得度。昭和51年に京都西山短期大学に入学し、学生として総本山誓願寺に2年間随身し、その間に法脈相承を受ける。大学卒業後、愛知県に戻り、自坊の法務に携わりながら地元の鉄鋼会社にて38年間勤務。平成26年に住職拝命。

ご住職には、毎年お盆のお施餓鬼などで大変お世話になっており、いつも優しい笑顔で色々なお話を聞かせてくださいます。この度の取材も快く引き受けてくださって本当にありがとうございました。これからもお身体を大切にしてください。

探偵 N

今回は愛知県蒲郡市拾石町の「養泉山法性院」を訪ねました。

Q1

お寺の歴史を教えてください。

天文元年に拾石村の養泉ヶ塚という場所で地元の漁師が漁をしていたところ、網に牡蠣が付着したご本尊がかり、そのご本尊を祀るためのお堂を拾石村の海岸に建立したのが当寺の始まりです。その後、このご本尊が見つかった養泉の地名を山号として、元禄10年(1697)に開山寂道上人がお堂を拾石町蔵子田に移

転し、養泉山法性院となりました。そして、天明2年(1782)に正空信道上人がお寺を現在の場所に移転して、明治21年(1888)に興空教璨上人が本堂を再建しました。近年では平成20年(2008)に本堂の屋根の修繕をして平成23年(2011)に庫裏の屋根替え及び修繕を行いました。

Q2

お寺にはどのような仏さまが祀られていますか？

本堂には、本尊阿弥陀如来坐像、善導大師坐像、法然上人坐像、善光寺如来、観音菩薩、弘法

大師、薬師如来などが祀られています。地蔵堂には地蔵菩薩が祀られています。

Q3

お坊さんとしての心がけを教えてください。

人と接するときは仏さまをお手本にしてお付き合いをして、少しでも周りの人たちのお力になれることがあれば、お役に立てるよう心がけております。

Q4

「ちかい」の読者に何か頂けませんか？

当寺の名前入りの手拭いタオルを10名さまに差し上げます。

【交通】

JR「三河塩津」駅、名鉄「蒲郡競艇場前」駅より徒歩10分

【主な行事】

七草会 1月7日
御忌会 1月第3または第4日曜
地蔵会 2月第2日曜、7月第2日曜
弘法さん 旧暦3月21日
盆施餓鬼 8月2日
薬師如来御開帳 10月第1日曜
除夜の鐘 12月31日

【お問い合わせ】

法性院
〒443-0038 愛知県蒲郡市拾石町五反田32
TEL 0533-68-3448



◀本堂内観



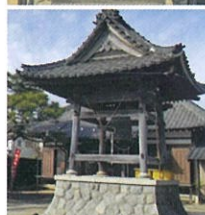
◀地蔵堂



▲本堂外観



◀本尊海中出現阿弥陀如来坐像



◀鐘楼堂



▲山門